
ソウル・ソサエティ～もう一つの秘話～

ギロりん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ソウル・ソサエティ～もう一つの秘話～

【NZコード】

N2407B

【作者名】

ギロりん

【あらすじ】

死神の觀月と斗鬼は、人工死神と生活することに…

プロローグ（前書き）

これはアニメBLEACHのソウル・ソサエティが舞台の話です。
ですがブリーチを知らない人み楽しめます

プロローグ

「こは、ソウル・ソサエティ。（死神たちが集つ場所）死神の観月（中3）と、斗鬼（中2）は中河原研究所に向かっていた。観月（以下観）

「はあかせえ～～～？」観月の声が研究所にひびく。斗鬼（以下斗）

「博士…いないのかな…」

観月が中へ入つていくと、何かが書かれたメモがあつた。観
「えーっと…なになに？」

その時、斗鬼がわりこんできて、メモを読んだ。斗

「観月と斗鬼へ せつかくよんだのに、留守にしてしまつてしま
ない。そこにあるレバーを引いてくれ。オレは今、現世にいる。中
河原博士より！だつて。意味分かんね～？（ - - - #）」
斗鬼が気付いた頃にはもう、観月がレバーを握つている。観
「ともかくやるわよ！！！」

観月はレバーを引いた。ガチャツ！…すると、目の前にあつたモニ
ターに博士がうつった。観
「あつ博士！…！」続く。

プロローグ（後書き）

続きは、まだ書いてあつませんが、出来たらよんでもください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2407b/>

ソウル・ソサエティ～もう一つの秘話～

2010年10月11日03時46分発行